

# 「工業科」教員免許取得へのロードマップ

システム工学部 第 期  
氏 名

---

# 1 オリエンテーション

## 1 「工業科」教職課程ディプロマ・ポリシー

### 1 幅広い教養と分野横断的な学力

自然環境、社会、人間、文化に対する幅広い知識を身につけている。  
時代や社会が求める実践的な力を身につけている。

### 2 専門的知識や技能

工学の専門分野において必要な知識や技能を身につけている。  
工学における複数分野を横断し俯瞰する専門的な知識・技能を身につけている。  
幅広い工業知識と多様な展望を次世代に示し、次世代の技術者を育成する能力を身につけている。

### 3 課題解決力と自己学修能力

技術者に必要な基礎学力及び獲得した専門的知識を活かして、課題を解決する能力を身につけている。  
専門的思考力を高めるため、主体的な学修により学び続ける姿勢を身につけている。

### 4 協働性とコミュニケーション能力

技術者として、課題の解決に向けて他者と協働して取り組む能力を身につけている。  
自らの思考過程・作業過程・成果及びそれらの妥当性を他者に論理的に伝えるコミュニケーション能力を身につけている。  
地域社会・工業を担う次世代を育成する教育活動を行う基盤を身につけている。

### 5 地域への関心と国際的視点

地域の課題に対して関心を持ち、その課題の解決に寄与する能力を身につけている。  
広範な情報を収集し、正しく分析することができる語学力を身につけている。

## 2 工業科の目標(高等学校学習指導要領(平成 30 年告示))

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

### 3 教職課程において修得すべき資質能力

必要な資質能力の指標		
大項目	小項目	指標
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。
	学習集団の形成の理解	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。
	子どもの状況に応じた対応の理解	いじめ、不登校、特別支援教育等について、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	工業科	これまで履修した工業科教育分野の科目の内容について理解していますか。
	教科書・学習指導要領	教科書や免許状取得予定の校種の学習指導要領の内容を理解していますか。
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。

教科・教育課程に関する基礎知識・技能	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。
	総合的な学習の時間等	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけることや、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。
	保護者・地域との連携・協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。
	共同授業実施	同僚・保護者・地域の専門家など、他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。
コミュニケーション・スキル	発達段階に応じたコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。

コミュニケーション・スキル	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。
教育実践力	教材分析力	教材を分析することができますか。
	授業構成力	教材研究を生かした授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じて、創意・工夫した教材・資料を開発・作成することができますか。
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。
	板書・表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。
課題探求	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。
	合意形成と討議能力	対話・討議を通して、合意を形成することができますか。

#### 4 教職に向けて各段階の到達目標

履修年次	到達目標
1年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の本質・目的について理解している。(憲法)</li> <li>・教育に関する社会的・制度的事項について説明できる。(憲法)</li> <li>・基礎学力および専門基礎知識を修得している。(教養科目)</li> <li>・心理や心の問題について理解している(教養心理系科目など)</li> </ul>
2年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後学んでいく学問領域の基礎的な知識を修得している。</li> <li>・基礎学力および専門知識に基づいて自主的に学習できる能力を身につけている。</li> </ul>
3年次	<p>「職業指導」履修時にあげる項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業の教科指導法の基本が身につけている。</li> <li>・教育方法や授業技術の基礎が身につけている。</li> <li>・教育活動に必要な基本的知識・技能を身につけている。</li> <li>・教職の意義や教員の役割について説明できる。</li> <li>・教員の職務内容について説明できる。さまざまな教育問題の実態およびその指導法について理解している。</li> <li>・これまでに学んだ教科や教職に関する知識が、教育現場で有効かつ適切に活用できる能力を有している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業科目について、応用可能な専門知識・技能を有している。</li> <li>・先端的複合技術としてのシステム工学についての知識を修得している。</li> </ul>
4年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員に必要な基礎的能力を有している。</li> <li>・これまでに学んだ知識・理論と実習で得られた経験の統合を図り、教員としての資質向上を図る。</li> <li>・身につけた専門知識、技能を応用する力とともに専門知識に裏付けられた思考力を有している。</li> <li>・自らの思考やその妥当性を論理的に説明する能力を有している。</li> </ul>

## 5 教職に関する文献

- ・中村豊久・島田和典・その他（2019）『新しい観点と実践に基づく 工業科教育法の研究 改訂版』実教出版。
- ・片山悠樹（2016）『「ものづくり」と職業教育——工業高校と仕事のつながり方』岩波書店。
- ・本田由紀（2009）『教育の職業的意義—若者、学校、社会をつなぐ』筑摩書房。
- ・産業教育研究連盟（2021）『技術・家庭科ものづくり大全: その教育理念と授業実践』合同出版。
- ・佐藤浩章（2021）『高校教員のための探究学習入門—問いからはじめる 7 つのステップ』ナカニシヤ出版。
- ・奈須正裕（2022）『個別最適な学びと協働的な学び』東洋館出版社。
- ・栗田正生（2021）『高校教師の授業づくり 最高の学びを生み出す仕事術』明治図書出版。
- ・稲垣忠・佐藤和紀・その他（2021）『ICT 活用の理論と実践: DX 時代の教師をめざして』北大路書房。
- ・白松賢（2017）『学級経営の教科書』東洋館出版社。
- ・中澤渉（2021）『学校の役割ってなんだろう』ちくまプリマー新書
- ・荻上千キ（2018）『いじめを生む教室—子どもを守るために知っておきたいデータと知識』PHP 新書
- ・雨宮処凛（2021）『学校、いかなきゃいけないの？これからの不登校ガイド』河出書房新社



## 6 各年度におけるオリエンテーション受講後の省察

1年次

--

2年次

--

3年次

--

4年次

--

※毎年度、ガイダンス後に自記

1 年次

# 1 本年度の免許取得に向けての学修目標

## 目標設定・計画

本年度の目標	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育の本質・目的について理解している。</li><li>・今後学んでいく学問領域の基礎的な知識を修得している。</li><li>・教育に関する社会的・制度的事項について説明できる。</li></ul>
--------	--

※学修ポートフォリオから転記

目標達成のための計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本国憲法、英語、スポーツ実習、情報処理Ⅰ 職業指導などの履修について記載</li><li>・メジャー科目履修の中から「工業科」に役立つと考える科目3科目程度あげること</li></ul>
------------	---

※年度当初に自記

## 2 教職関連科目履修状況

### 科目理解度（自己評価）の登録

**学びの状況**  
科目理解度（自己評価）

科目名	単位数	集点	GP	自己評価(※)	コメント/200文字以内(※)
わかやま未来学	1			▼	
哲学	1			▼	
現代社会におけるリーダーシップ	1			▼	
手習実習	1			▼	
データサイエンスへの誘いA	1			▼	
データサイエンスへの誘いB	1			▼	
情報処理 I A	1			▼	
情報処理 I B	1			▼	
フランス語入門	2			▼	
英語 I	2			▼	
微積分 I	2			▼	
線形代数 I	2			▼	
基礎力学 I	1			▼	
基礎力学 II	1			▼	
基礎化学 A	1			▼	
メジャー紹介講義 1	2			▼	
メジャー紹介講義 2	2			▼	
システム工学入門セミナー	2			▼	

※：必須科目/compulsory course

登録する    クリア    戻る

※学修ポートフォリオの画面を印刷して貼付（当初のイメージ図は、適宜消去してください。  
（2019年度以前入学者は、成績通知書を添付）

### 3 省察

#### ディプロマポリシー達成度（自己診断）の登録

ディプロマポリシー達成度（自己診断）の登録

ディプロマポリシー	
全学	システム工学部
<b>項目1. 幅広い教養と分野横断的な学力</b> ・教養教育により、普遍的な思考力と、時代や社会が求める実践的な力を身につけている。 ・専門分野の枠を超えて求められる知識や思考法などの知的な技法の基礎を身につけている。	
<b>項目2. 専門的知識や技能</b> ・専門分野における十分な見識を身につけることにより、専門職業人としての知識・技能を備えている。	
<b>項目3. 課題解決力と自己学習能力</b> ・修得した知識・技能を活用して課題を解決し、主体的に学び続ける能力、意欲と態度を備えている。	
<b>項目4. 協働性とコミュニケーション能力</b> ・他者と協働して物事に取り組み理解する能力、意欲と態度を備えている。	
<b>項目5. 地域への関心と国際的視点</b> ・地域の特性を理解し、地域の課題解決に寄与する意欲や態度を備えている。 ・異文化理解力、コミュニケーション力を身につけ、国際的視野を備えている。	
	・自然環境、社会、人間、文化に対する幅広い知識を身につけている。 ・時代や社会が求める実践的な力を身につけている。 ・工学の専門分野において必要な知識や技能を身につけている。 ・工学における複数分野を横断し俯瞰する専門的な知識・技能を身につけている。 ・技術者に必要な基礎学力及び獲得した専門的知識を活かして、課題を解決する能力を身につけている。 ・専門的思考力を高めるため、主体的な学習により学び続ける姿勢を身につけている。

ディプロマポリシー達成度（学期）

自己診断を登録する

ディプロマポリシー達成度（通算）

※工業科教職課程のディプロマポリシーは、上記システム工学部のディプロマポリシーに以下の項目を追加したものです。

- 2 専門的知識や技能：幅広い工業知識と多様な展望を次世代に示し、次世代の技術者を育成する能力を身につけている。
- 4 協働性とコミュニケーション能力：地域社会・工業を担う次世代を育成する教育活動を行う基盤を身につけている。

※学修ポートフォリオの画面を印刷して貼付（当初のイメージ図は、適宜消去してください。

（2019年度以前入学者は、別途配付するファイルに記入して添付）

## 年度全体の振り返り

満足度	
-----	--

自分の評価	
-------	--

※学修ポートフォリオから転記

### (1)教職に関する学修についての振り返り

1 本年度の免許取得に向けての学修目標で記載した学期の目標や目標達成のための計画について、振り返り
---

※年度末に自記

#### 4 「工業科」教職指導教員コメント

--

※年度末に教職指導教員が記載

2 年次



# 1 本年度の免許取得に向けての学修目標

## 目標設定・計画

本年度の目標	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育の本質・目的について理解している。</li><li>・今後学んでいく学問領域の基礎的な知識を修得している。</li><li>・教育に関する社会的・制度的事項について説明できる。</li></ul>
--------	--

※学修ポートフォリオから転記

目標達成のための計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本国憲法、英語、スポーツ実習、情報処理Ⅰ 職業指導などの履修について記載</li><li>・メジャー科目履修の中から「工業科」に役立つと考える科目3科目程度あげること</li></ul>
------------	---

※年度当初に自記

## 2 教職関連科目履修状況

### 科目理解度（自己評価）の登録

**学びの状況**  
科目理解度（自己評価）

科目名	単位数	集点	GP	自己評価(※)	コメント/200文字以内(※)
わかやま未来学	1			▼	
哲学	1			▼	
現代社会におけるリーダーシップ	1			▼	
手習実習	1			▼	
データサイエンスへの誘いA	1			▼	
データサイエンスへの誘いB	1			▼	
情報処理 I A	1			▼	
情報処理 I B	1			▼	
フランス語入門	2			▼	
英語 I	2			▼	
微積分 I	2			▼	
線形代数 I	2			▼	
基礎力学 I	1			▼	
基礎力学 II	1			▼	
基礎化学 A	1			▼	
メジャー紹介講義 1	2			▼	
メジャー紹介講義 2	2			▼	
システム工学入門セミナー	2			▼	

※：必須科目/compulsory course

登録する    クリア    戻る

※学修ポートフォリオの画面を印刷して貼付（当初のイメージ図は、適宜消去してください。  
（2019年度以前入学者は、成績通知書を添付）

### 3 省察

#### ディプロマポリシー達成度（自己診断）の登録

ディプロマポリシー達成度（自己診断）の登録

ディプロマポリシー	
全学	システム工学部
<b>項目1. 幅広い教養と分野横断的な学力</b> ・教養教育により、普遍的な思考力と、時代や社会が求める実践的な力を身につけている。 ・専門分野の枠を超えて求められる知識や思考法などの知的な技法の基礎を身につけている。	
<b>項目2. 専門的知識や技能</b> ・専門分野における十分な見識を身につけることにより、専門職業人としての知識・技能を備えている。	
<b>項目3. 課題解決力と自己学習能力</b> ・修得した知識・技能を活用して課題を解決し、主体的に学び続ける能力、意欲と態度を備えている。	
<b>項目4. 協働性とコミュニケーション能力</b> ・他者と協働して物事に取り組み理解する能力、意欲と態度を備えている。	
<b>項目5. 地域への関心と国際的視点</b> ・地域の特性を理解し、地域の課題解決に寄与する意欲や態度を備えている。 ・異文化理解力、コミュニケーション力を身につけ、国際的視野を備えている。	
	・自然環境、社会、人間、文化に対する幅広い知識を身につけている。 ・時代や社会が求める実践的な力を身につけている。 ・工学の専門分野において必要な知識や技能を身につけている。 ・工学における複数分野を横断し俯瞰する専門的な知識・技能を身につけている。 ・技術者に必要な基礎学力及び獲得した専門的知識を活かして、課題を解決する能力を身につけている。 ・専門的思考力を高めるため、主体的な学習により学び続ける姿勢を身につけている。

ディプロマポリシー達成度（学期）

自己診断を登録する

ディプロマポリシー達成度（通算）

※工業科教職課程のディプロマポリシーは、上記システム工学部のディプロマポリシーに以下の項目を追加したものです。

- 2 専門的知識や技能：幅広い工業知識と多様な展望を次世代に示し、次世代の技術者を育成する能力を身につけている。
- 4 協働性とコミュニケーション能力：地域社会・工業を担う次世代を育成する教育活動を行う基盤を身につけている。

※学修ポートフォリオの画面を印刷して貼付（当初のイメージ図は、適宜消去してください。

（2019年度以前入学者は、別途配付するファイルに記入して添付）

## 年度全体の振り返り

満足度	
-----	--

自分の評価	
-------	--

※学修ポートフォリオから転記

### (2)教職に関する学修についての振り返り

1 本年度の免許取得に向けての学修目標で記載した学期の目標や目標達成のための計画について、振り返り
---

※年度末に自記

#### 4 「工業科」教職指導教員コメント

--

※年度末に教職指導教員が記載

3 年次

# 1 本年度の免許取得に向けての学修目標

## 目標設定・計画

本年度の目標	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育の本質・目的について理解している。</li><li>・今後学んでいく学問領域の基礎的な知識を修得している。</li><li>・教育に関する社会的・制度的事項について説明できる。</li></ul>
--------	--

※学修ポートフォリオから転記

目標達成のための計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本国憲法、英語、スポーツ実習、情報処理Ⅰ 職業指導などの履修について記載</li><li>・メジャー科目履修の中から「工業科」に役立つと考える科目3科目程度あげること</li></ul>
------------	---

※年度当初に自記

## 2 教職関連科目履修状況

### 科目理解度（自己評価）の登録

**学びの状況**  
科目理解度（自己評価）

科目名	単位数	集点	GP	自己評価(※)	コメント/200文字以内(※)
わかやま未来学	1			▼	
哲学	1			▼	
現代社会におけるリーダーシップ	1			▼	
手習実習	1			▼	
データサイエンスへの誘いA	1			▼	
データサイエンスへの誘いB	1			▼	
情報処理 I A	1			▼	
情報処理 I B	1			▼	
フランス語入門	2			▼	
英語 I	2			▼	
微積分 I	2			▼	
線形代数 I	2			▼	
基礎力学 I	1			▼	
基礎力学 II	1			▼	
基礎化学 A	1			▼	
メジャー紹介講義 1	2			▼	
メジャー紹介講義 2	2			▼	
システム工学入門セミナー	2			▼	

※：必須科目/compulsory course

登録する    クリア    戻る

※学修ポートフォリオの画面を印刷して貼付（当初のイメージ図は、適宜消去してください。  
（2019年度以前入学者は、成績通知書を添付）



### 3 省察

#### ディプロマポリシー達成度（自己診断）の登録

ディプロマポリシー達成度（自己診断）の登録

ディプロマポリシー	
全学	システム工学部
<b>項目1. 幅広い教養と分野横断的な学力</b> ・教養教育により、普遍的な思考力と、時代や社会が求める実践的な力を身につけている。 ・専門分野の枠を超えて求められる知識や思考法などの知的な技法の基礎を身につけている。	
・自然環境、社会、人間、文化に対する幅広い知識を身につけている。 ・時代や社会が求める実践的な力を身につけている。	
<b>項目2. 専門的知識や技能</b> ・専門分野における十分な見識を身につけることにより、専門職業人としての知識・技能を備えている。	
・工学の専門分野において必要な知識や技能を身につけている。 ・工学における複数分野を横断し俯瞰する専門的な知識・技能を身につけている。	
<b>項目3. 課題解決力と自己学習能力</b> ・修得した知識・技能を活用して課題を解決し、主体的に学び続ける能力、意欲と態度を備えている。	
・技術者に必要な基礎学力及び獲得した専門的知識を活かして、課題を解決する能力を身につけている。 ・専門的思考力を高めるため、主体的な学修により学び続ける姿勢を身につけている。	
<b>項目4. 協働性とコミュニケーション能力</b> ・他者と協働して物事に取り組み理解する能力、意欲と態度を備えている。	
・技術者として、課題の解決に向けて他者と協働して取り組む能力を身につけている。 ・自らの思考過程・作業過程・成果及びそれらの妥当性を他者に論理的に伝えるコミュニケーション能力を身につけている。	
<b>項目5. 地域への関心と国際的視点</b> ・地域の特性を理解し、地域の課題解決に寄与する意欲や態度を備えている。	
・地域の課題に対して関心を持ち、その課題の解決に寄与する能力を身につけている。 ・広範な情報を収集し、正しく分析することができる語学力を身につけている。	

ディプロマポリシー達成度（学期）

[自己診断を登録する](#)

ディプロマポリシー達成度（通算）

※工業科教職課程のディプロマポリシーは、上記システム工学部のディプロマポリシーに以下の項目を追加したものです。

- 2 専門的知識や技能：幅広い工業知識と多様な展望を次世代に示し、次世代の技術者を育成する能力を身につけている。
- 4 協働性とコミュニケーション能力：地域社会・工業を担う次世代を育成する教育活動を行う基盤を身につけている。

※学修ポートフォリオの画面を印刷して貼付（当初のイメージ図は、適宜消去してください。

（2019年度以前入学者は、別途配付するファイルに記入して添付）

## 年度全体の振り返り

満足度	
-----	--

自分の評価	
-------	--

※学修ポートフォリオから転記

### (3) 教職に関する学修についての振り返り

1 本年度の免許取得に向けての学修目標で記載した学期の目標や目標達成のための計画について、振り返り
---

※年度末に自記

#### 4 「工業科」教職指導教員コメント

--

※年度末に教職指導教員が記載

4 年次

# 1 本年度の免許取得に向けての学修目標

## 目標設定・計画

本年度の目標	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育の本質・目的について理解している。</li><li>・今後学んでいく学問領域の基礎的な知識を修得している。</li><li>・教育に関する社会的・制度的事項について説明できる。</li></ul>
--------	--

※学修ポートフォリオから転記

目標達成のための計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本国憲法、英語、スポーツ実習、情報処理Ⅰ 職業指導などの履修について記載</li><li>・メジャー科目履修の中から「工業科」に役立つと考える科目3科目程度あげること</li></ul>
------------	---

※年度当初に自記

## 2 教職関連科目履修状況

### 科目理解度（自己評価）の登録

**学びの状況**  
科目理解度（自己評価）

科目名	単位数	単位	GP	自己評価(※)	コメント/200文字以内(※)
わかやま未来学	1			▼	
数学	1			▼	
現代社会におけるリーダーシップ	1			▼	
手習実習	1			▼	
データサイエンスへの誘いA	1			▼	
データサイエンスへの誘いB	1			▼	
情報処理 I A	1			▼	
情報処理 I B	1			▼	
フランス語入門	2			▼	
英語 I	2			▼	
微積分 I	2			▼	
線形代数 I	2			▼	
基礎力学 I	1			▼	
基礎力学 II	1			▼	
基礎化学 A	1			▼	
メジャー紹介講義 1	2			▼	
メジャー紹介講義 2	2			▼	
システム工学入門セミナー	2			▼	

※：必須科目/compulsory course

登録する    クリア    戻る

※学修ポートフォリオの画面を印刷して貼付（当初のイメージ図は、適宜消去してください。  
（2019年度以前入学者は、成績通知書を添付）

### 3 省察

#### ディプロマポリシー達成度（自己診断）の登録

ディプロマポリシー達成度（自己診断）の登録

ディプロマポリシー	
全学	システム工学部
<b>項目1. 幅広い教養と分野横断的な学力</b> ・教養教育により、普遍的な思考力と、時代や社会が求める実践的な力を身につけている。 ・専門分野の枠を超えて求められる知識や思考法などの知的な技法の基礎を身につけている。	
<b>項目2. 専門的知識や技能</b> ・専門分野における十分な見識を身につけることにより、専門職業人としての知識・技能を備えている。	
<b>項目3. 課題解決力と自己学習能力</b> ・修得した知識・技能を活用して課題を解決し、主体的に学び続ける能力、意欲と態度を備えている。	
<b>項目4. 協働性とコミュニケーション能力</b> ・他者と協働して物事に取り組み理解する能力、意欲と態度を備えている。	
<b>項目5. 地域への関心と国際的視点</b> ・地域の特性を理解し、地域の課題解決に寄与する意欲や態度を備えている。 ・異文化理解力、コミュニケーション力を身につけ、国際的視野を備えている。	

ディプロマポリシー達成度（学期）

[自己診断を登録する](#)

ディプロマポリシー達成度（通算）

※工業科教職課程のディプロマポリシーは、上記システム工学部のディプロマポリシーに以下の項目を追加したものです。

- 2 専門的知識や技能：幅広い工業知識と多様な展望を次世代に示し、次世代の技術者を育成する能力を身につけている。
- 4 協働性とコミュニケーション能力：地域社会・工業を担う次世代を育成する教育活動を行う基盤を身につけている。

※学修ポートフォリオの画面を印刷して貼付（当初のイメージ図は、適宜消去してください。

（2019年度以前入学者は、別途配付するファイルに記入して添付）

## 年度全体の振り返り

満足度	
-----	--

自分の評価	
-------	--

※学修ポートフォリオから転記

### (4)教職に関する学修についての振り返り

1 本年度の免許取得に向けての学修目標で記載した学期の目標や目標達成のための計画について、振り返り
---

※年度末に自記



#### 4 「工業科」教職指導教員コメント

--

※年度末に教職指導教員が記載

## 5 教職課程において修得すべき資質能力修得状況

必要な資質能力の指標			
大項目	小項目	指標	5段階自己評価 (数字が大きい方が良)
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。	
	学習集団の形成の理解	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	
	子どもの状況に応じた対応の理解	いじめ、不登校、特別支援教育等について、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。	
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	工業科	これまで履修した工業科教育分野の科目の内容について理解していますか。	
	教科書・学習指導要領	教科書や免許状取得予定の校種の学習指導要領の内容を理解していますか。	
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	

教科・教育課程に関する基礎知識・技能	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	
	総合的な学習の時間等	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。	
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけることや、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。	
	保護者・地域との連携・協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	
	共同授業実施	同僚・保護者・地域の専門家など、他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。	
コミュニケーション・スキル	発達段階に応じたコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。	

コミュニケーション・スキル	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。	
教育実践力	教材分析力	教材を分析することができますか。	
	授業構成力	教材研究を生かした授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。	
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じて、創意・工夫した教材・資料を開発・作成することができますか。	
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。	
	板書・表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。	
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。	
課題探求	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。	
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。	
	合意形成と討議能力	対話・討議を通して、合意を形成することができますか。	

※最終年次の年度末に自記